

令和8年度 シラバス

教 科	芸術	科 目	書道Ⅱ	学 年	第3学年	学 科 類 型	商業科
単位数	2単位	教科書	書道Ⅱ（大修館書店）				
副教材							

学習目標	書道Ⅰの学習内容をさらに発展させ学習します。漢字の学習では篆書・隸書・草書・行書の古典学習を中心に行います。また、既習の学習内容を生かし、より作品効果を高めた表現活動が行えるよう、多様な文字造形や用筆の習得を目指します。自らの作品イメージを、文字という素材を使ってどのように具現化するのか等、思考し創造する力を養います。
------	--

キャリア教育の視点	日常生活の中で、私たちは様々な文字に触れています。文字を見て、美しいと感じるのはなぜでしょうか？文字の変遷過程を追っていくと、その時代に生きた人たちの思想や文化、風土等様々な要素が関連して形作られていることが分かります。幅広い書を学ぶことで、様々な美の要素を味わい、表現する楽しみを持つきっかけとしてもらいたいと思います。
-----------	---

		学習計画及び内容		考 査
学 期	4月	書の美を求めて漢字の書	書体の変遷、書体の特徴を学習します。 五書体の中から各自で古典作品を選び文字の特徴を分析した上で、臨書を行います。 篆書（甲骨文・金文・大篆）を素材とし、鑑賞と臨書を行います。 隸書（八分隸・木簡）を素材とし、鑑賞と臨書を行います。 隸書の倣書作品制作を行います。	書道展に出品
	5月	漢字の書（篆書）		作品提出
	6月	漢字の書（隸書）		ワークシート
	7月			作品提出
学 期	8月	篆刻	自分の名前の印を制作します。 狂草書、独草書の鑑賞を行い、中国と日本の草書を学習します。 王羲之の書に影響を受けた書家の書を学習します。 学習した分野から、一作品選び、半切サイズの画仙紙に臨書を行います。 書道Ⅰの学習からさらに発展させ、古筆を中心とした鑑賞及び臨書学習を行います。 題材、用具・用材を選択し、作品を効果的に見せる構成を考え、漢字仮名交じりの書の創作作品を制作します。	作品提出
	9月	漢字の書（草書）		作品制作
		漢字の書（行書）		書道展に出品
	10月	漢字の書		作品提出
	11月	仮名の書		作品提出
学 期	12月	漢字仮名交じりの書		ワークシート
	1月	刻字	彩玉ボードに漢字を刻します。	ワークシート
	2月			作品提出
	3月			

学習方法	授業中の活動が中心となりますので、個人での活動も集団での活動も、積極的に取り組んでください。実技においては特に古典臨書が中心となります。文字を分析しながら、古典の特徴や書の美しさを感じ取り、表現します。その中で歴史的背景や人物像なども学習します。作品完成後には、相互評価や自己評価など学習の振り返りを行います。
------	---

評価の仕方	定期考査は行いません。授業内で行う清書作品・提出課題・学期末に提出するノート提出、長期休業中の課題、活動への取り組み方、出席状況で評価します。 それぞれの活動において「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」の観点から評価します。
-------	--

備考	材料費として、2,000円徴収します。大筆・小筆は書道Ⅰで使用していたものを個人で用意してください。
----	--